

1本針・3本糸オーバーロックミシン

# MO-630D/630

## 取扱説明書



注意

安全にご使用していただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、いつでもご覧になれますように保管ください。

お買い上げ ありがとうございます。  
このロックミシンの特長をご理解していただき、正しくご使用していただくために、まずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。  
ご覧になったあとは、保証書とともに、大切に保存してください。

\* 印は、MO-630Dの差動送り装置の説明です。  
MO-630は差動送り装置がついていません。

### もくじ

安全にご使用していただくために	1
各部の名称	1・2
糸立装置の組付け方	2
ロック用、大型糸巻き糸、家庭用糸ゴマの場合	
付属品	2
動かす前の準備	3
コントローラーのとりつけ方、電源ランプスイッチ	
各操作部とはたらき	3・4
ルーパーカバーの開閉、布台の開閉	
押え上げレバー、押えの交換、上メスの解除	
針の交換	
* 差動調節つまみ、下メス調節つまみ	
送り調節つまみ、押え調節ネジ	
かがり幅切替えつまみ	
糸のかけ方	5・6
上ルーパー糸、下ルーパー糸、針糸	
ためし縫い	7
糸調子ダイヤルの合わせ方	7
糸調子の調整方法	7
* 差動調整	8
巻き縫い(全巻き、細ロック)について	8
テープ付け縁かがり/ * ギャザー寄せ	9
縫っている途中で糸が切れたとき	9
縫い目の閉じ方、ほどこき方	9
上メス、下メスの交換	10
ランプの交換	10
掃除と注油	10
仕様表	10
サービスをお申しつける前に	裏表紙
別売付属品	裏表紙



## 安全にご使用いただくために

このミシンを安全にご使用していただくために、下記のことがらは必ずお守りください。  
このミシンは日本国内向け、家庭用です。  
FOR USE IN JAPAN ONLY



この表示は  
禁止マークです。



**警告**

このマークの表示は感電、火災の原因となりますから、特にご注意ください。

1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
2. 下記のようなときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。
  - ・ミシンのそばを離れるとき。
  - ・ミシンをご使用になったあと。
  - ・ミシンのご使用中に停電したとき。



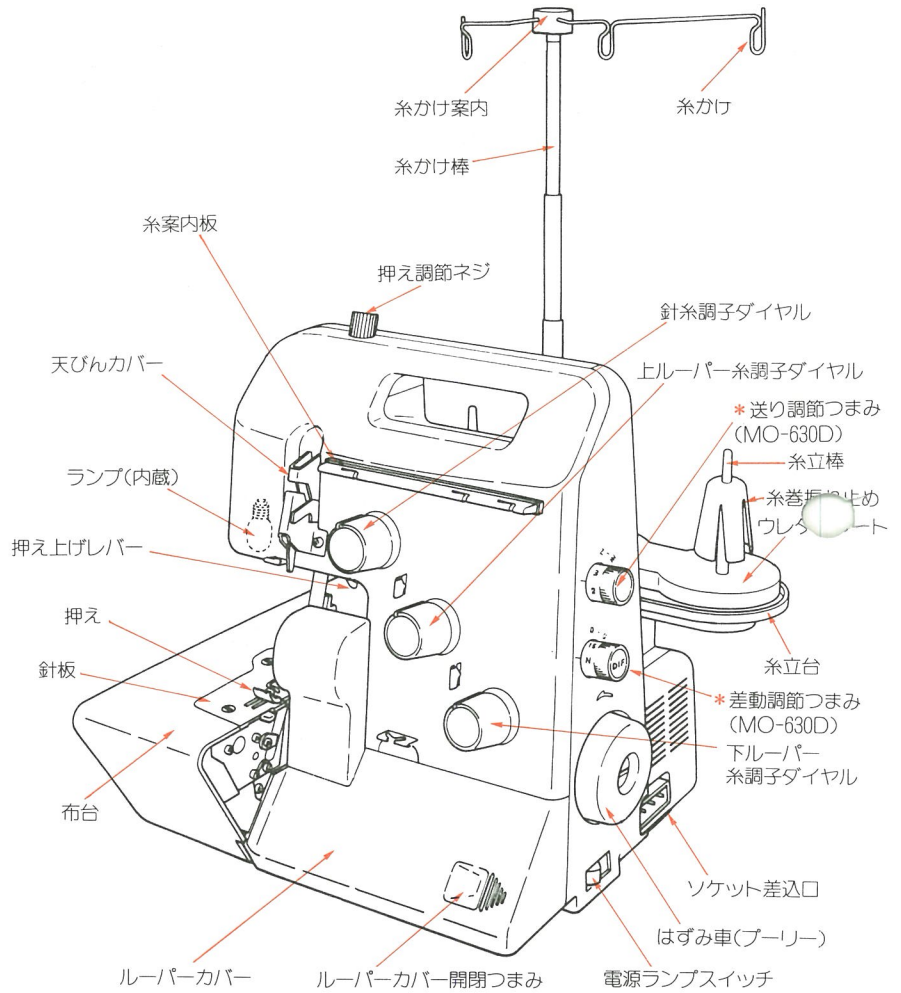
**注意**

このマークの表示は感電、火災、けがの原因となりますから、特にご注意ください。

1. コントローラーの上に物をのせないでください。
2. お客様ご自身での分解、改造はしないでください。
3. ミシンを操作するときはルーパーカバー、布台カバーなどカバー類を閉じてください。
4. ミシンの縫製中は針から目を離さないようにし、針、メス、ルーパー、はずみ車、天びんなど、すべての動いている部分に手を近づけないでください。
5. 針折れの原因になるような曲がった針はご使用にならないでください。
6. 針折れの原因になりますので、縫製中に布を無理に引張ったり、押したりしないでください。
7. お子様がミシンをご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全にご注意ください。
8. 下記のことを行うときは、電源スイッチを切ってください。
  - ・針、針板、押え、アタッチメントなどを交換するとき。
  - ・針糸、ルーパー糸をセットするとき。
  - ・ランプを交換するとき。(ランプが冷えてから行ってください)
  - ・取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うとき。
9. 落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。
10. ミシンやコントローラーに下記の異常があるときは速やかに使用停止し、最寄りの販売店にて点検、修理、調整をお受けください。
  - ・正常に作動しないとき。
  - ・落下などにより破損したとき。
  - ・水に濡れたとき。
  - ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
  - ・異常な臭い、音がするとき。

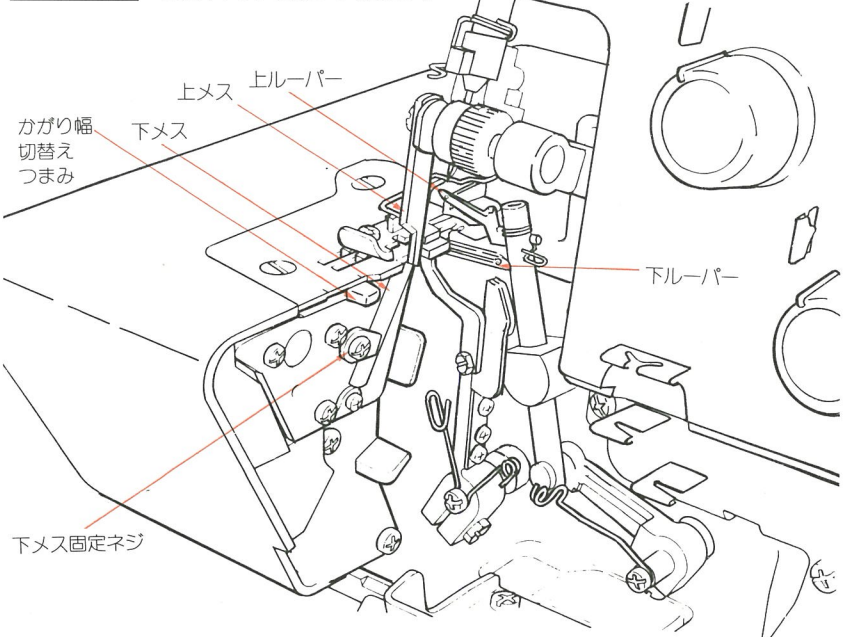


## 各部の名称



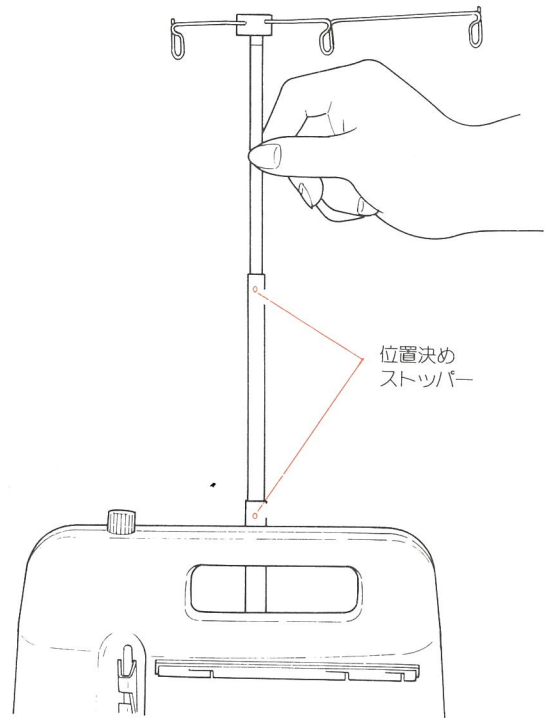
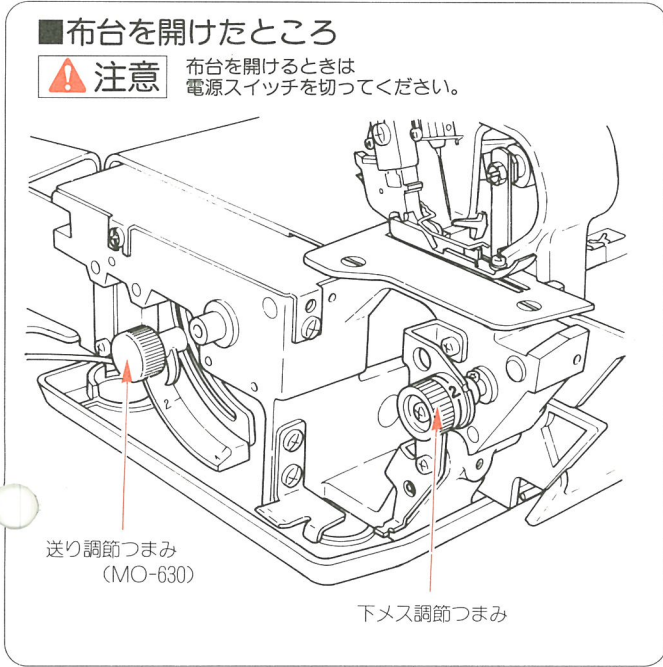
### ■ルーパーカバーを開けたところ

**注意** ルーパーカバーを開けるときは電源スイッチを切ってください。



## 糸立装置の組付け方

●糸かけ棒をのばします。

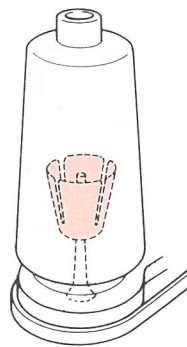
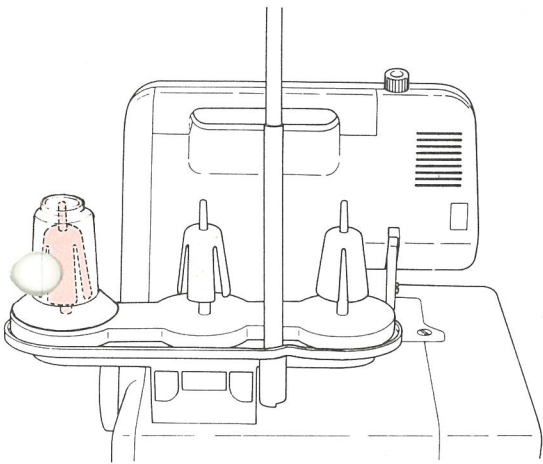


「カチッ」と音がして位置決めストッパーにかみ合うまで回します。

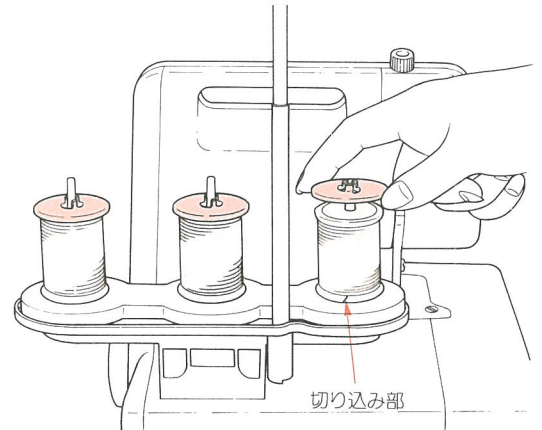
### ■ロック用糸の場合

### ■大型糸巻き糸の場合

### ■家庭用糸ゴムの場合

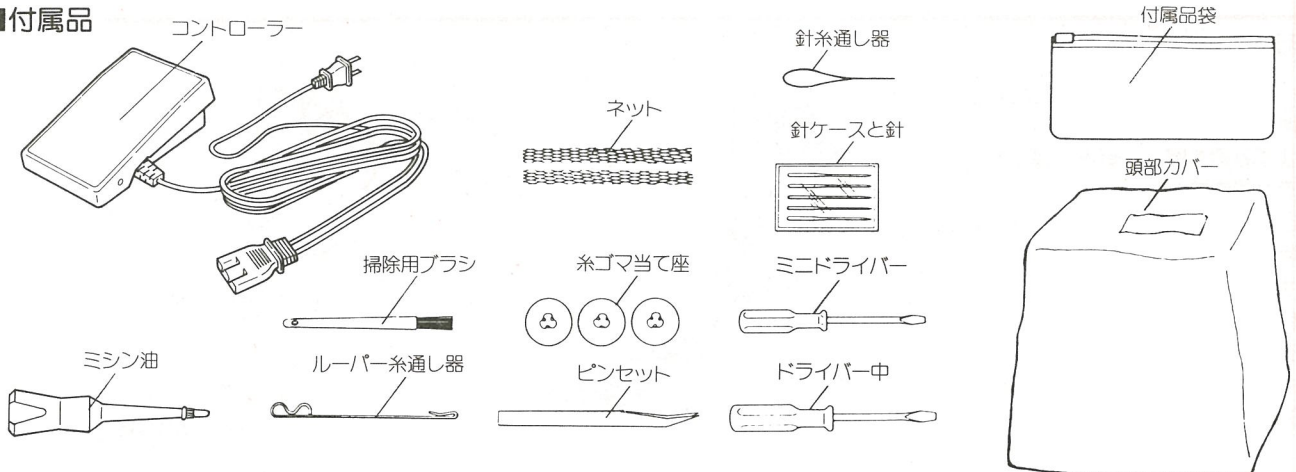


内径の大きい糸巻き糸は糸巻振れ止めを逆さにします。



糸巻振れ止めを抜きとり、糸ゴムの切り込み部を下に差し込み、糸ゴム当て座の凸部を上差し込みます。

### ■付属品

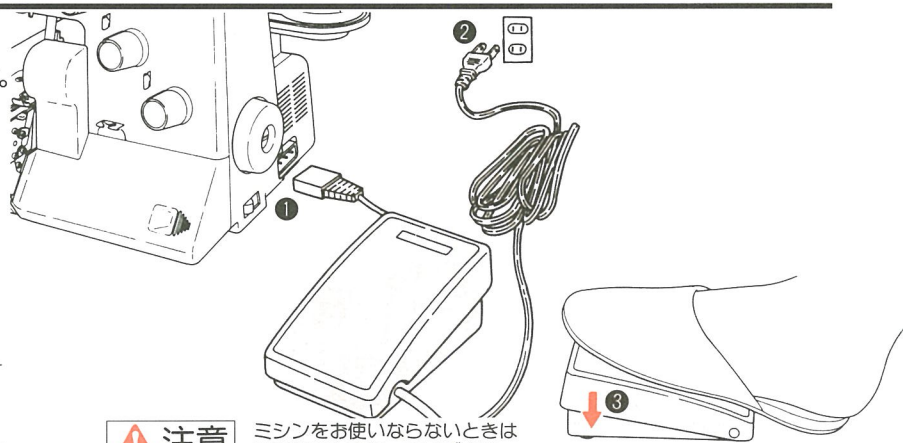




## 動かす前の準備・各部の操作とはたらき

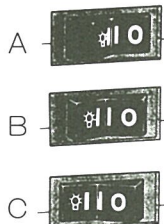
### ■コントローラーをとりつけます。

- ①コントローラーをソケット差し込み口に差し込みます。
- ②つぎにプラグを室内コンセントに差し込みます。
- ③コントローラーの上に足をのせます。  
コントローラーを強く(深く)踏むと速くなり、  
弱く(浅く)踏むと遅くなります。



### ■電源ランプスイッチの入・切について

- A. ● を押すと電源が切れます。  
B. | にすると電源が入り、ミシンは  
使えますが、ランプはつきません。  
C. ■ を押すとランプがつき、ミシン  
も使えます。



#### ⚠ 注意

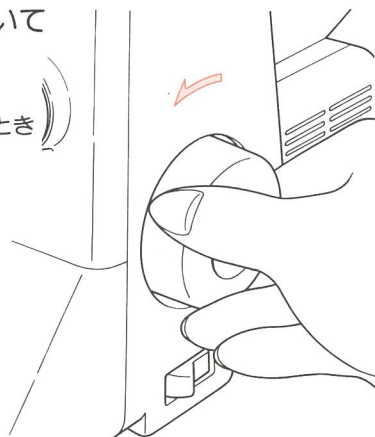
ミシンをお使いにならないときは  
下記のことを行ってください。

1. 電源ランプスイッチを ● (切る) にしてください。
2. 電源プラグは必ず室内コンセントから、はずしてください。
3. コントローラーの上に物を乗せないでください。

### ■はずみ車(プリー)について

はずみ車は手前に回します。

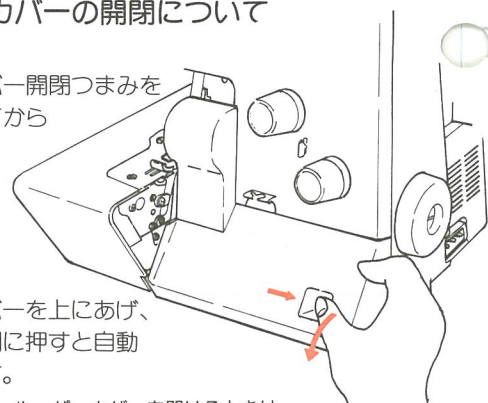
- ※糸を通したあと、縫い始め、  
縫い終りなど、はずみ車を回すとき  
は必ず手前に回してください。



### ■ルーパークバーの開閉について

- ・開け方  
ルーパークバー開閉つまみを  
右側に押してから  
手前に倒し  
ます。

- ・閉じ方  
ルーパークバーを上にあげ、  
軽く向こう側に押すと自動  
的に閉じます。

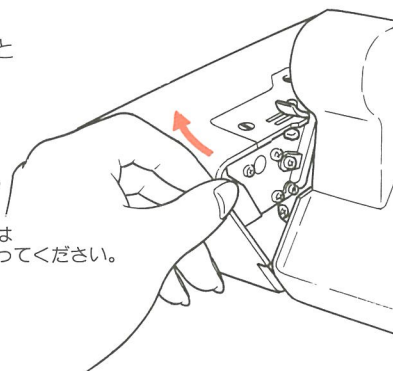


#### ⚠ 注意

ルーパークバーを開けるときは  
電源スイッチを切ってください。

### ■布台の開閉について

- ・開け方  
布台の手前を左側に押しますと  
開きます。
- ・閉じ方  
布台をミシンの方へ押します。

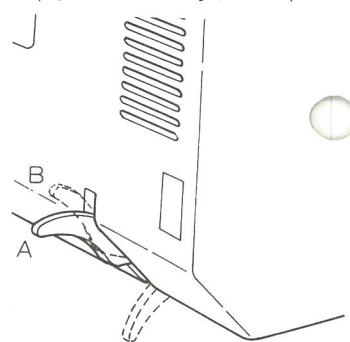


#### ⚠ 注意

布台を開けるときは  
電源スイッチを切ってください。

### ■押え上げレバーについて (押え上げレバーにより) 押えをあげます。

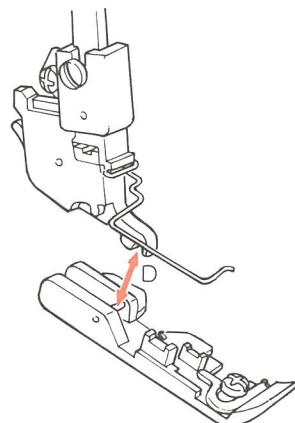
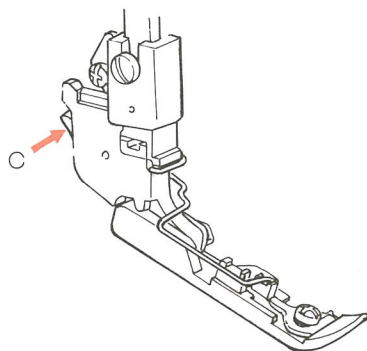
- A. 通常の場合、A位置まで  
上がります。
- B. 押えの交換や厚布など押  
えと針板とのすき間を必  
要とするとき、B位置ま  
で上げます。



### ■押えの交換

⚠ 注意 押えの交換のときは  
電源スイッチを切ってください。

1. 押えを上げます。
2. はずみ車を回し、針を一番上ま  
で上げます。
3. C部を押すと押えがはずれます。
4. 押えをとりつける場合は押え上  
げレバーをB位置に上げ、押え  
を下に置き、押えのピンをホル  
ダーの溝の下に(D)正しく置き、  
押え上げレバーを下げれば自動  
的にセットされます。

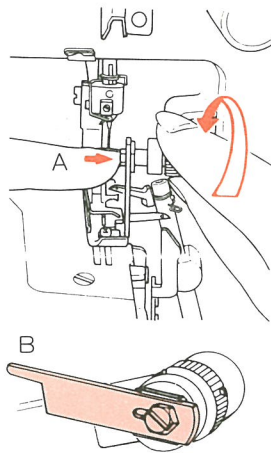




## ■上メスの解除

1. はずみ車を回し、上メスが一番上になる位置で止めて、ルーパーカバーを開けます。
2. A部を右にいっぱいまで、押しします。
3. その状態で右側のつまみを矢印の方向に回します。
4. Bの位置まで回して止めます。

**注意** 上メス解除のときは電源スイッチを切ってください。

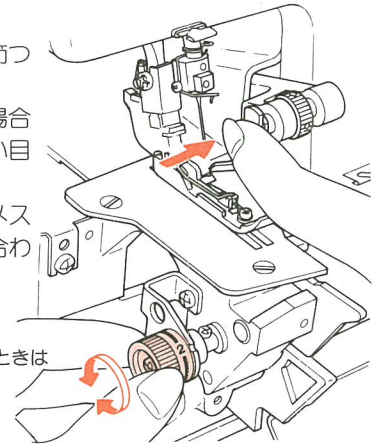


## ■下メス調節つまみ(メス位置の調節)

A部を押しながら、下メス調節つまみを回します。

- ・縫製物の布端がカールする場合は下メス調節つまみを小さい目盛に合わせます。
  - ・布端より糸が余る場合は下メス調節つまみを大きい目盛に合わせます。
- (7ページの下を参照)

**注意** 下メス位置調整のときは電源スイッチを切ってください。

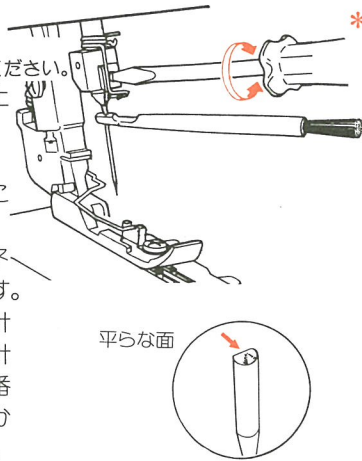


## ■針の交換

**注意** 針の交換のときは電源スイッチを切ってください。

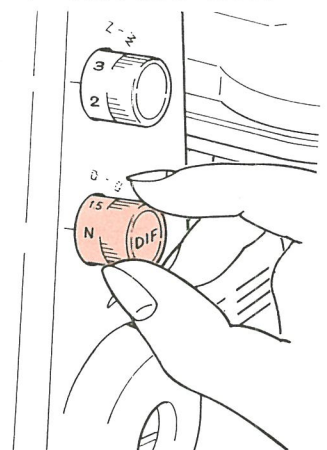
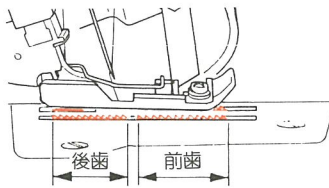
1. はずみ車を回し針位置を一番上まで上げます。
2. 押えを下げます。
3. 掃除用ブラシの反対側の針穴に針をさし込みます。
4. ミニドライバーを使い針止めネジをゆるめて、針をはずします。
5. 掃除用ブラシの針穴に新しい針の平らな面を向こう側に針を入れ、針とりつけ溝穴の一番上につき当たるまで差し込んでから、しっかりネジを締めます。

※使用針は家庭用ミシン針HA×1の11番又は14番です。



## \* ■差動調節つまみ(縫いちぢみ・のび調節)(MO-630D)

縫いちぢみ、縫いのびは差動調節つまみを(伸びる、縮む表示方向に)回すだけで、調整できます。送り歯の前歯と後歯の運動速度を変化させて、のびやすい布やちぢみやすい布の縫いシワを防ぎます。



## ■送り調節つまみ(縫い目の長さ調節)

縫いながらも「1~4」の範囲で調節できます。

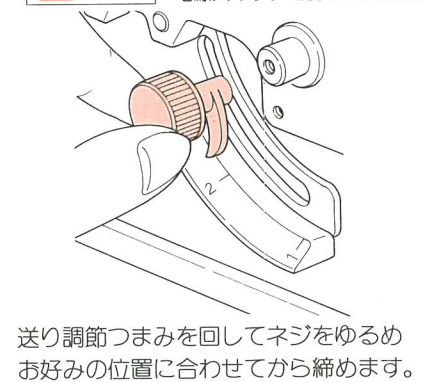
- ・通常の縁かがり縫いの標準は「2.5」です。
- ・巻き縫いの場合は「1~1.5」に合わせます。

### MO-630D



### MO-630

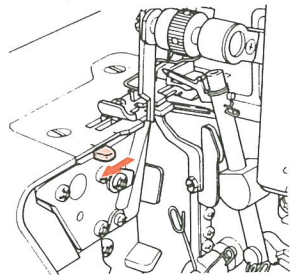
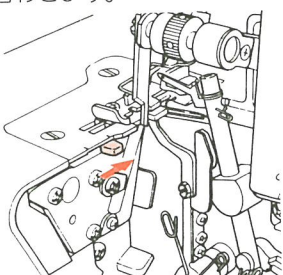
**注意** 布台を開けるときは電源スイッチを切ってください。



## ■かがり幅切替えつまみ

(縁かがり縫い・巻き縫いの切替え)

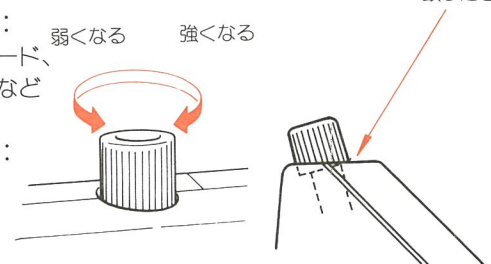
- 普通の縁かがり縫いの場合：かがり幅切替えつまみを向う側に押し針板の後ろ側の赤刻線に合わせます。
- 巻き縫いの場合：かがり幅切替えつまみを手前に引き、針板の手前の赤刻線に合わせます。



## ■押え調節ネジ

押え圧力の標準は押え調節ネジの下端と前面カバーの上端が一致したところです。特殊な布地以外は調整する必要はありません。

- 強くする場合：デニム、ツイード、堅いリンネルなど厚手の布地
- 弱くする場合：ジョーゼットローン、トリコットなど薄手の布地





# 糸のかけ方

美しい縫い目をつくるには、正しい糸かけ順序で糸を通さねばなりません。

**■準備** **⚠注意** 糸かけ、糸通しのときは電源スイッチを切ってください。

1. 糸かけ案内をつけた糸かけ棒を最上までのばします。
2. ルーパーカバーと布台をあげます。
3. はずみ車を手前に回し、針を最上にします。
4. 上メスを解除します。

## ■糸かけ順序

糸かけ順序を明確にするために糸かけ図と色表示がついています。糸かけ手順は下記の順序で行います。

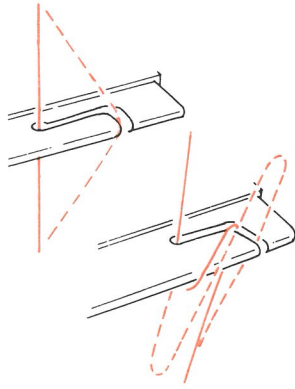
- 最初に、上ルーパー糸（青色印）  
 2番目に、下ルーパー糸（赤色印）  
 3番目に、針糸（緑色印）

糸かけ、糸通しには付属されているピンセット、針糸通し器を使うと便利です。

※針穴とルーパー穴以外はすべてワンタッチ糸かけです。

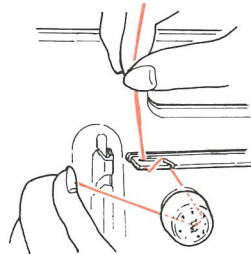
## ■糸案内板の糸かけ

1. 糸案内板のスキ間に糸を入れ、左側に引きます。
2. 糸案内板の下から出た糸を下から上にもって行き、再び糸案内板のスキ間にに入れて下方に引きます。



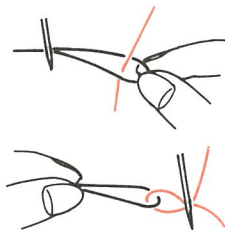
## ■糸調子ダイヤルの糸かけ

糸を糸調子皿に正しく入れるために両手で軽く糸を引きます。



## ■針糸通し器

針糸通し器に糸を入れ、針糸通し器の先端から針穴やルーパー穴に入れ糸を引き出します。



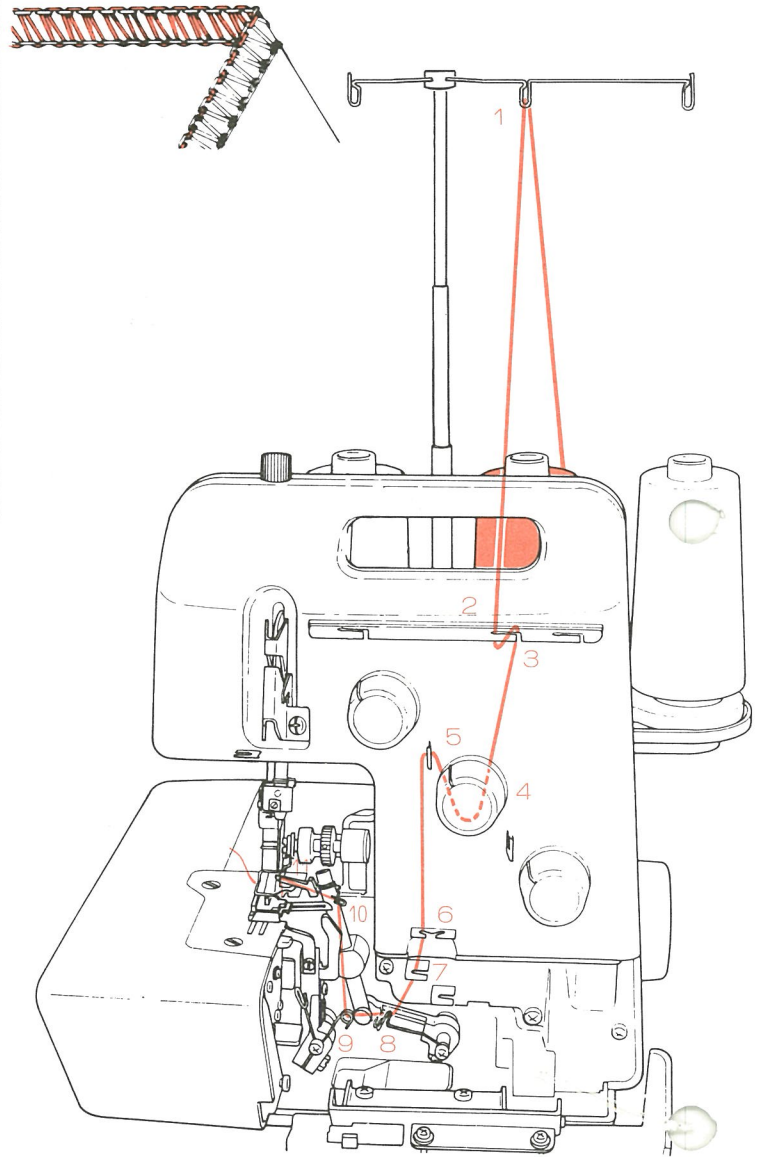
■よりの強い糸にはネットをご使用ください。

付属のネットを上ルーパー、下ルーパーの糸ゴマにかぶせると糸あばれがなくなります。

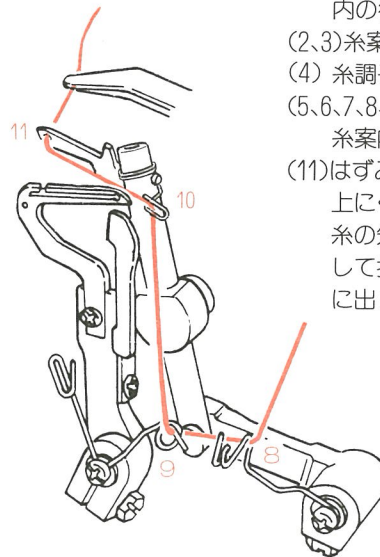


# 糸かけ順序

## ①上ルーパー糸(青印)

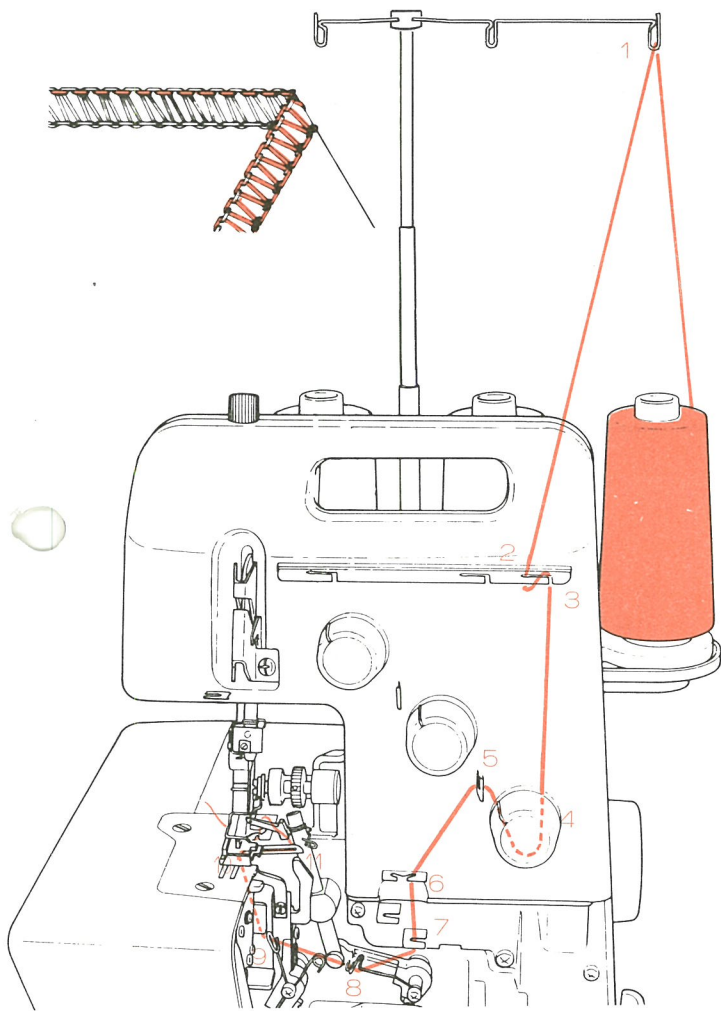


- (1) 糸ゴマから青色印の糸かけ案内の後から前にかけます。
- (2,3) 糸案内板にかけます。
- (4) 糸調子ダイヤルにかけます。
- (5,6,7,8,9,10) 糸案内にかけます。
- (11) はずみ車を回し、上ルーパーが上にくる位置で糸を通します。糸の先端を約10センチ引き出して押えの下に入れ、後ろ側に出します。

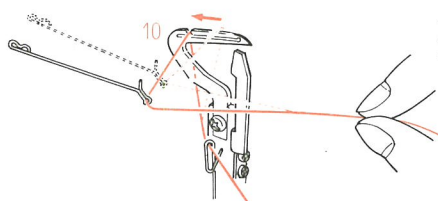
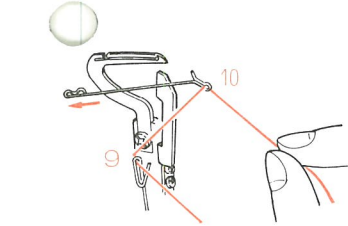




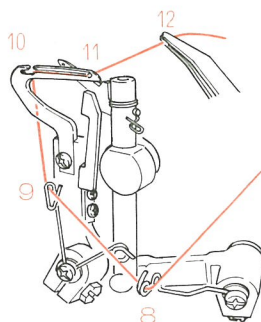
## ② 下ルーパー糸(赤印)



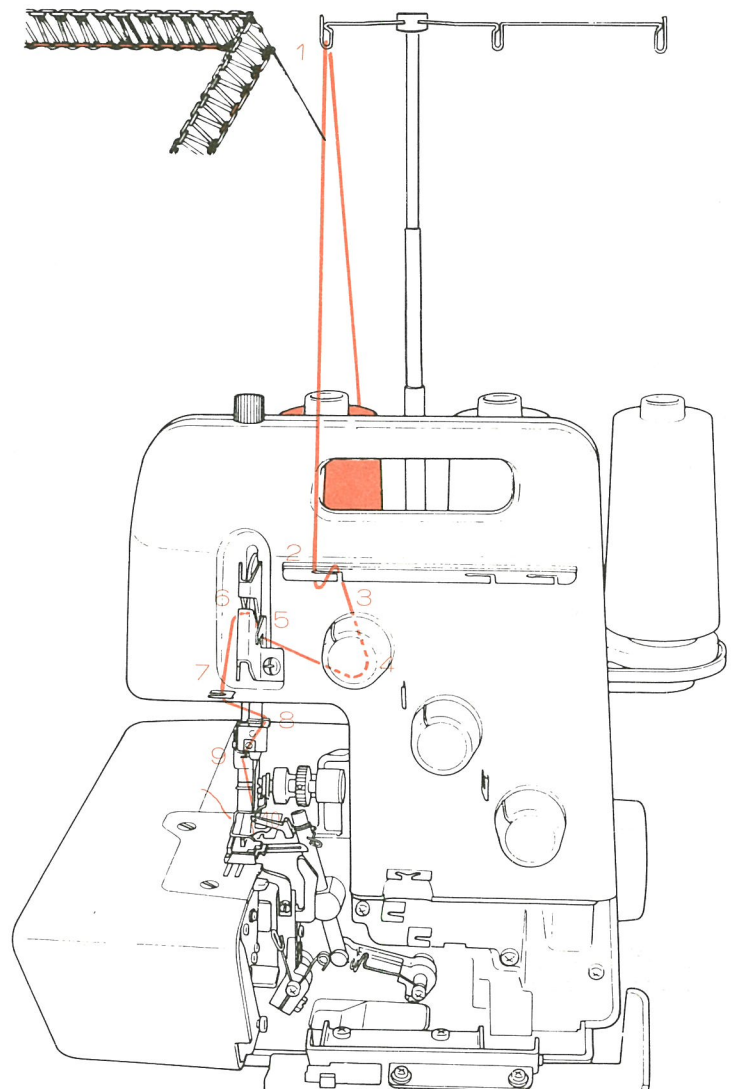
- (1) 糸ゴマから糸を赤色印の糸かけ案内にかけます。
- (2,3) 糸案内板にかけます。
- (4) 糸調子ダイヤルにかけます。
- (5,6,7,8,9) 糸案内にかけます。
- (10) ルーパー糸通し器を使ってミシンの右から左に通します。はずみ車を手前に回して、下ルーパーが最左側になるようにして下ルーパーの溝に通します。
- (11) ルーパー糸通し器を使って糸を再度右側に引き出します。はずみ車を手前に回し、下ルーパーを図のようにしてルーパー穴に糸を通します。



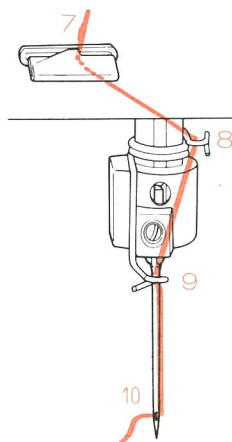
上ルーパーの上方から糸を約10cm引き出し、押えを上げ、糸を押えの下に入れて押えを下げます。



## ③ 針糸(緑印)



- (1) 糸ゴマからの糸を緑色印の糸かけ案内にかけます。
- (2,3) 糸案内板にかけます。
- (4) 糸調子ダイヤルにかけます。
- (5) 糸案内に下からかけます。
- (6) 天びんカバーの中央にかけます。
- (7) 糸案内にかけます。
- (8,9) 針棒糸案内にかけます。
- (10) 針が最上の位置で針に糸を通します。  
糸を約10cm出し、押えを上げ糸を押えの下に入れて押えを下げます。  
糸通しが終わったら、上メスを下げ、ルーパーカバーと布台を開じます。



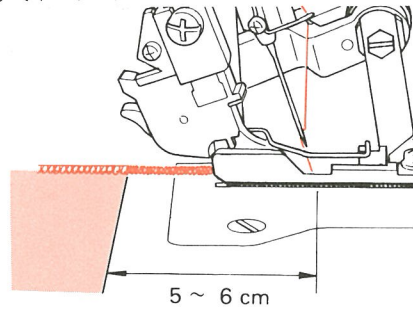


# ためし縫い・糸調子ダイヤルの合わせ方、調整の仕方

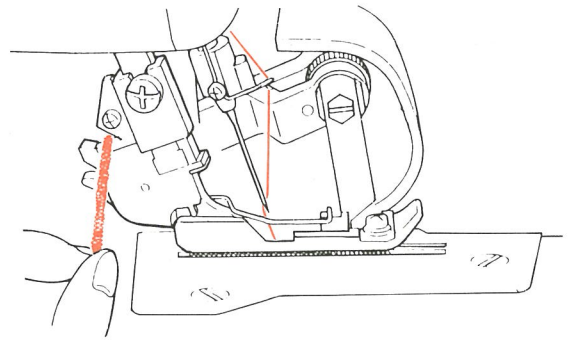
## ■糸かけが終ったら、ためし縫いをしてみましょう。

二枚合わせの布地を使い、縫い目や糸調子が正しいかどうか、調べます。

1. 全ての糸調子ダイヤルの目盛を“4”に合わせます。
2. 上メスが下がっているかを確認めます。(布の切断位置)
3. 押えを上げます。
4. 押えの下に布地をおきます。
5. 押えを下げて縫います。
6. 縫い終わったら5~6cm空環を縫います。



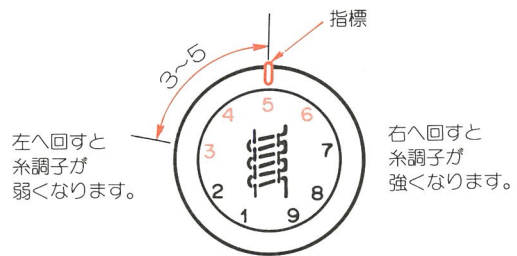
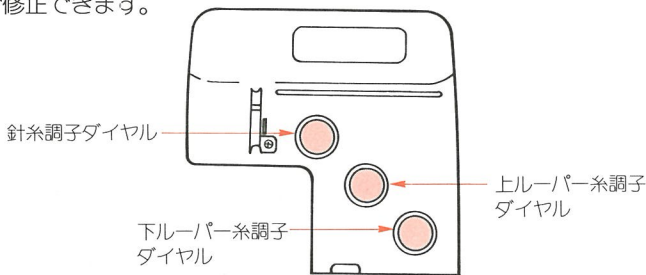
7. 片手で布地を押え、押えの後ろ側の糸切りに空環をかけて切ります。



からかん  
\* 空環とは：布地がなくて、糸の縫い目形状ができたものです。  
\* 糸調子ダイヤルの目盛は布地や糸の種類により変化します。

## ■糸調子ダイヤルの合わせ方

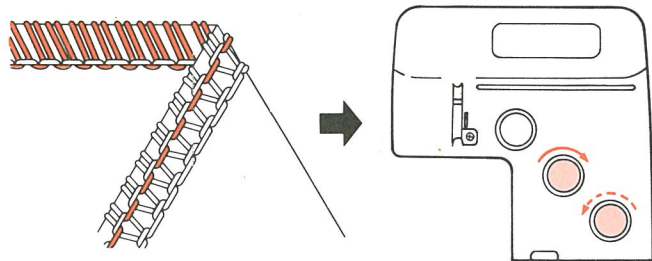
不完全な縫い目は糸調子ダイヤル目盛(1~9)を調整するだけで修正できます。



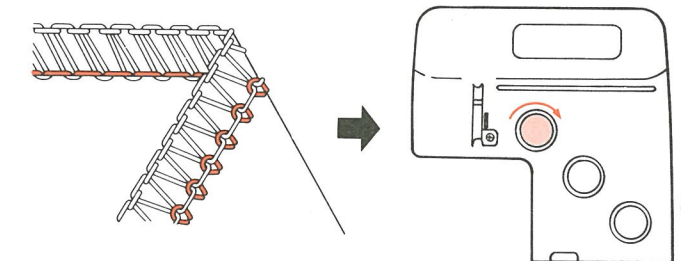
普通の布地の糸調子のダイヤルの目盛は3~5です。  
\* フィラメント糸やウイリーナイロン糸などは変化します。

## ■糸調子の調整の仕方——糸調子ダイヤルは1目盛が半目盛ずつ回し、ためし縫いをしながら調節します。

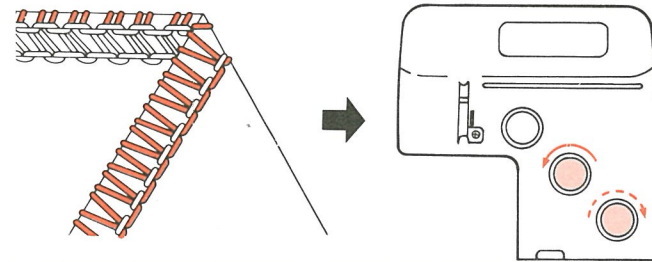
- 上ルーバー糸が布地の裏側に出る場合



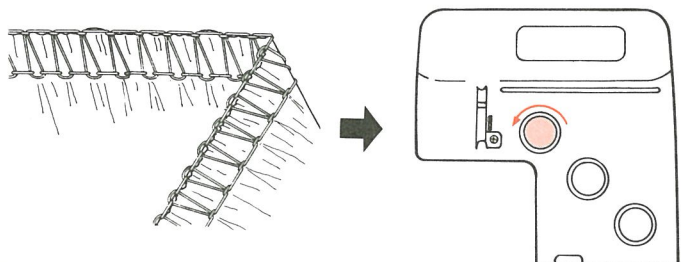
- 針糸が布地の裏側でループになる場合



- 下ルーバー糸が布地の表側に出る場合

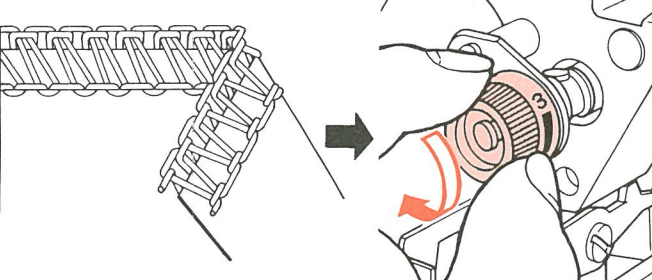


- 布地にシワが出る場合

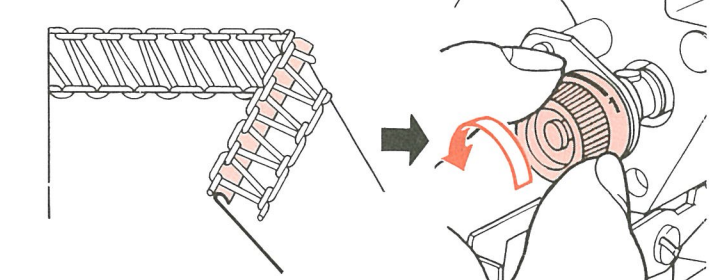


## ■下メス調節つまみについて——縫い目の端まで布地がとどかないとき、余りすぎてカールするときに調節します。

- 縫い目に布端がとどかない場合



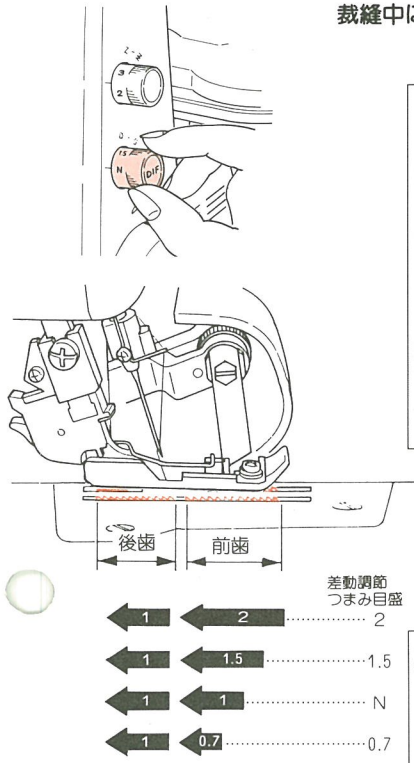
- 縫い目に布端が余りカールしている場合





# 差動調整・巻き縫い

■差動調節について—縫いぢぢみや縫いのびは差動調節つまみ(送り歯の前歯と後歯の運動を変化させる)で調整ができます。裁縫中に調整できますので、ためし縫いをしてください。(MO-630D)

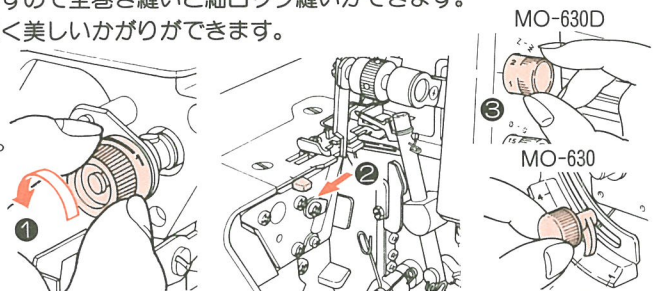


	布地	差動なし(N)で縫ったとき	差動調節つまみ目盛	調整結果
縫いのびやちぢみ布地	厚地ニット地 厚地メリヤス地 その他のびる布		N~2 	
	中薄ニット地 メリヤス ジャージ		N~1.5 	
	織布		N(差動なし) 	—
縫いぢぢみ布地	ジョーゼット リネン サテン ポプリン		0.7~N 	

■巻き縫いについて—このミシンには巻き縫い装置が内蔵されていますので全巻き縫いと細口ツク縫いができます。裾や袖口など布端を自動的に巻き込みながら細く美しいかがりができます。

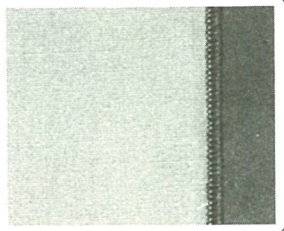
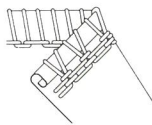
## 巻き縫いの準備

- ① 下メス調節つまみを回し、目盛を「1」近くに合わせます。
- ② かがり幅切替つまみを手前に引き、針板の手前の赤刻線に合わせます。
- ③ フィラメント糸、ウーリーナイロン糸を使用する場合は送り調節つまみ(縫い目の長さ)を「1~1.5」にします。



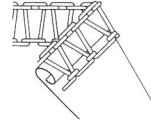
### ●全巻き縫い

全巻き縫いは上ルーパー糸で布端をくるむ縫い目です。



### ●細口ツク縫い

細口ツク縫いは普通の縁かがり縫いのかがり幅の狭い縫い目です。



## 巻き縫い(全巻き、細口ツク)の糸調子の目安表

※糸調子は下記の目安表をご参考にしてください。

- ・布地や糸の種類によって多少異なります。
- ・巻き縫いに使用するスパン糸は #90までの細い糸を使ってください。
- ・ウーリーナイロン糸は上ルーパー糸だけに使ってください。

糸調子ダイヤル目盛	全巻き縫いの場合			細口ツク縫いの場合		
	針糸調子ダイヤル	上ルーパー糸調子ダイヤル	下ルーパー糸調子ダイヤル	針糸調子ダイヤル	上ルーパー糸調子ダイヤル	下ルーパー糸調子ダイヤル
使用糸						
スパン糸 #90	3~5	3~5	6~8	3~5	4~6	3~5
フィラメント糸 #80	3~5	3~5	6~8	3~5	3~5	3~5
ウーリーナイロン糸 (上ルーパー糸)	—	2~4	—	—	3~5	—

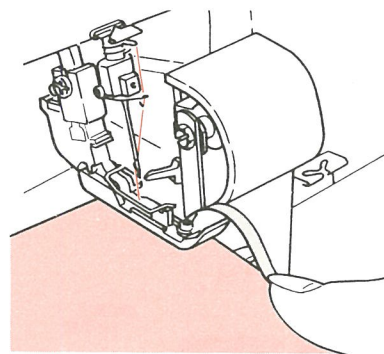
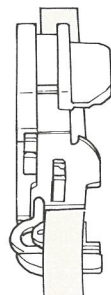
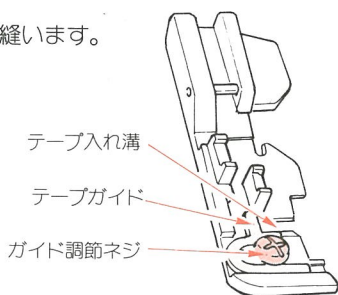
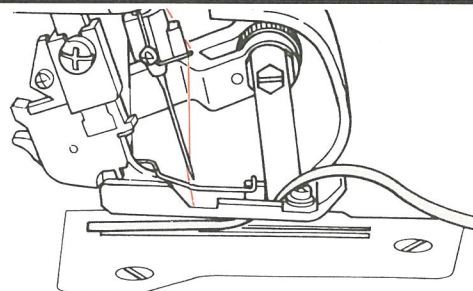
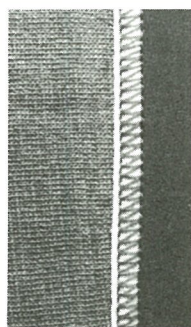


# テープ付け・縫っている途中で糸が切れたとき・縫い目の閉じ方、ほどき方

## ■テープ付け縁かがり縫い

このミシンの押えにはテープ付け案内がついています。二ツト地などの伸縮性のある布地の肩線や脇線などに使いますと伸び縮みしませんので、お試しください。

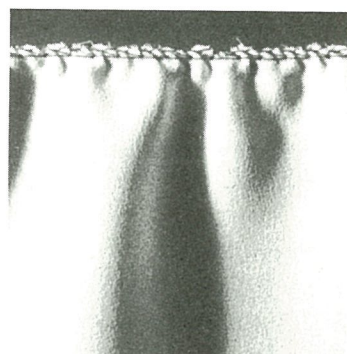
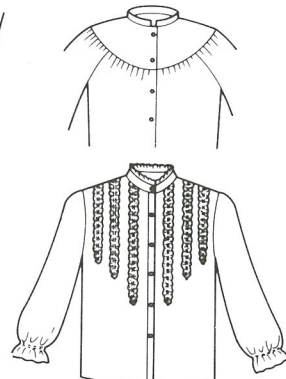
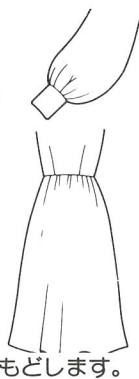
1. はずみ車を手前に回し、針を一番上にします。
2. 上メスを解除します。
3. 押えを上げて、テープを押えのテープ入れ溝に右側から入れてから押えを下げます。
4. 上メスを元に戻します。
5. ガイド調節ネジをゆるめてテープガイドをテープの幅に合わせて、ガイド調節ネジをしめます。
6. はずみ車を手で回してテープを2~3針縫います。
7. 縫いつける布を押えの下におきます。
8. テープを軽く保持しながら縫います。



## \*■ギャザーの寄せ方 (MO-630D)

1. 薄い一枚の布地にはギャザー寄せができます。
2. 送り調節つまみ（縫い目の長さ調節）の目盛を最大「4」にします。
3. 差動調節つまみの目盛を「1.5~2」に合わせます。

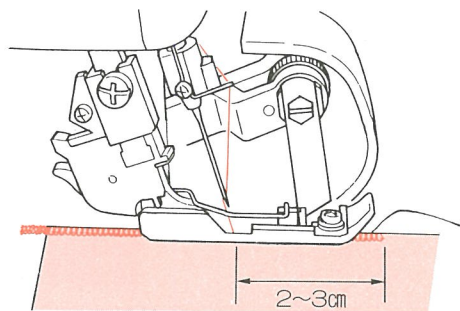
[例] スリーブヘッド、裾、ヨーク、レース、フリルなど



※差動送りのご使用後は、必ず、差動調節つまみを「N」にもどします。

## ■縫っている途中で糸が切れたとき

1. すぐに縫いを中止して、布地をはずします。
2. 切れた糸をかけなおします。  
 ※下ルーバー糸が切れた場合は針糸は針のところで切り、針糸をはずします。そして最初下ルーバーに、次に針に糸を通します。  
 ※上ルーバー糸が切れた場合は上ルーバーが一番下がった位置で糸を通し、糸を約10cm後へ引き出して押えの下へ入れます。
3. 押えを上げ、布地をその下に入れます。すでに縫われた縫い目の上を2~3cm重ねて縫います。

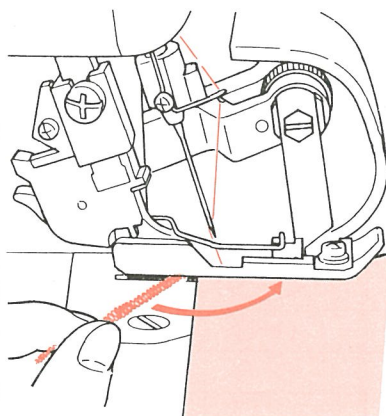


## ■縫い目の閉じ方

1. 縫い始めの空環を3~4cm出します。
2. 布地を2~3目縫います。
3. 針を下げて、押えを上げます。
4. 空環を伸ばして、押えと布地の間に左側から入れます。
5. 押えを下げて空環の上から縫います。

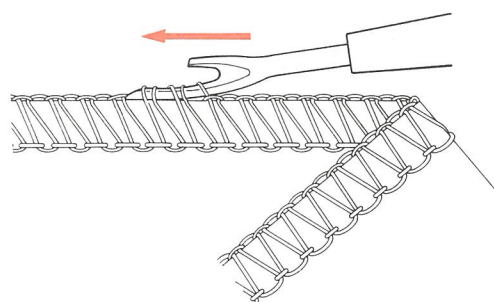
●空環の上を縫わない場合は、縫い始めと縫い終りは空環を長くします。そして空環を結んだり、トジ針で縫い目の中に入れることもできます。

※縫い目がお互いにクロスした場合、空環は自動的に閉じられ、縫い目がほつれません。



## ■縫い目のほどき方

市販のリッパー（目ほどき）で布端の上ルーバー糸と下ルーバー糸を同時に切り進みますと、布地をいたまず縫い目が簡単にほどけます。





## オーバーロックミシン MO-630D/630 糸調子の早見表

### 3本糸 縁かがり縫い

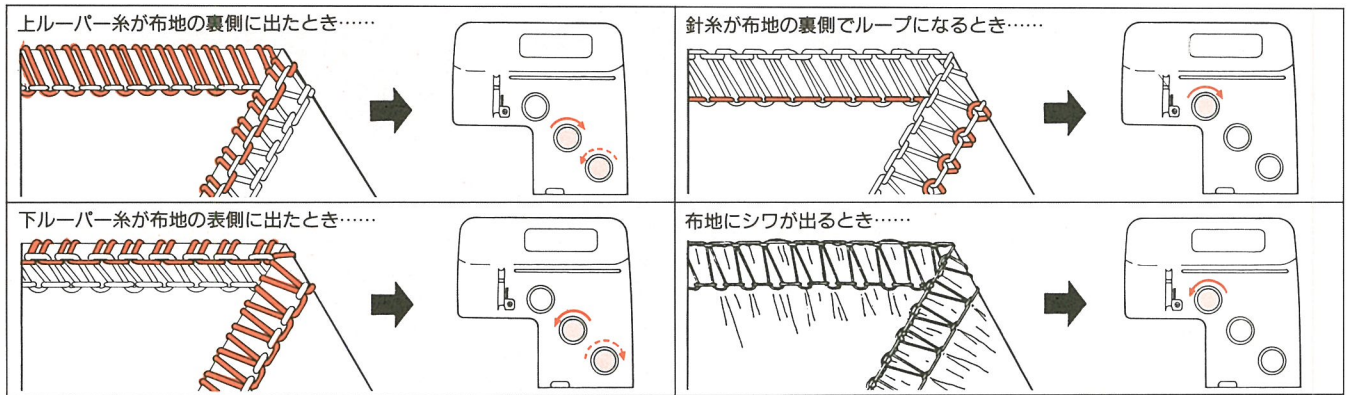
#### 糸の種類による糸調子の目安

糸調子ダイヤル	針糸調子ダイヤル	上ルーパー糸調子ダイヤル	下ルーパー糸調子ダイヤル
使用糸			
スパン糸#90	3~5	3~5	3~5
フィラメント糸#80	2~4	3~5	3~5

\* 薄地(ジョーゼット、ローンなど)の場合:  
針糸調子を弱めにしますとシワを防ぎきれいな縫い目になります。

\* 厚地(デニム、トレーナー地など)の場合:  
針糸調子を強めにしますとしっかり締まった縫い目になります。

#### 縫い目がみだれたときの直し方



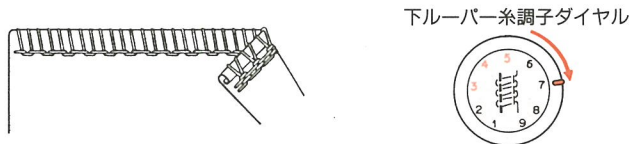
### 巻き縫い

全巻き  
細ロック

巻き縫いのときは…1) かがり幅切替えつまみを手前に引きます。  
2) 送り調節つまみ(縫い目の長さ)を1~1.5にします。

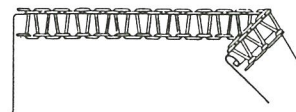
#### 全巻き縫い:

上ルーパー糸で布端をくるむ縫い目です。  
一般的には、下ルーパー糸を強くして布の裏側まで上ルーパー糸を引張って、くるむ方法です。



#### 細ロック縫い:

普通の縁かがり縫いのかがり幅の狭い縫い目です。



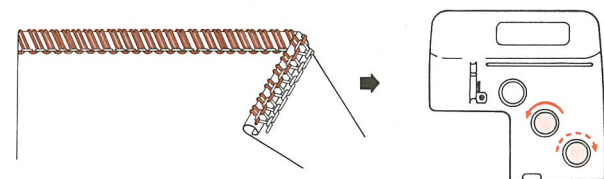
#### 糸の種類による糸調子の目安

糸調子ダイヤル	針糸調子ダイヤル	上ルーパー糸調子ダイヤル	下ルーパー糸調子ダイヤル
使用糸			
スパン糸#90	3~5	3~5	6~8
フィラメント糸#80	2~4	3~5	6~8
ウーリー糸(ナイロン)	—	3~5	—

\* 上ルーパー糸にウーリー糸を使いますと縫い上がって糸がふんわりと広がり 布端をきれいに包みます。

#### 縫い目の直し方

上ルーパー糸が布地の裏側で針糸と離れて、布の巻き具合が不足しているときは……

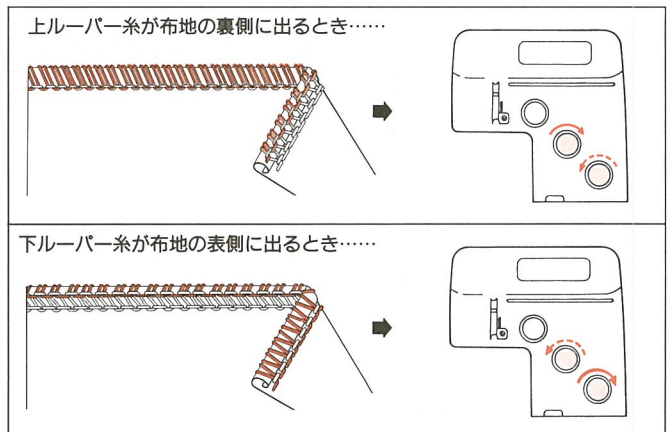


#### 糸の種類による糸調子の目安

糸調子ダイヤル	針糸調子ダイヤル	上ルーパー糸調子ダイヤル	下ルーパー糸調子ダイヤル
使用糸			
スパン糸#90	3~5	4~6	3~5
フィラメント糸#80	3~5	3~5	3~5

#### 縫い目の直し方

普通の3本糸縁かがり縫いとかがり幅が狭いだけで同じです。



※各糸調子の目安は、スパン糸#90とフィラメント糸#80という一般的なロック用糸についての記述です。  
布地や糸の種類によって多少の違いがありますから各縫いの調整方法をご参考にミシンをお使いください。





# 上メス、下メス交換・ランプの交換・掃除と注油・仕様表

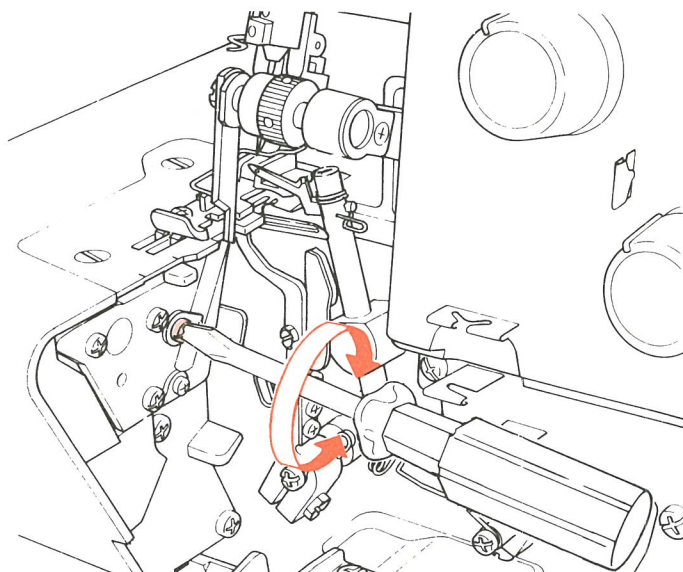
## ■上メスの交換

上メスは特殊超硬材を使用していますので、普通は交換する必要はありませんが、刃先がかけたとき交換します。そのときはお買い上げいただきました販売店にご相談ください。

## ■下メスの交換

**注意** メス交換のときは電源スイッチを切ってください。

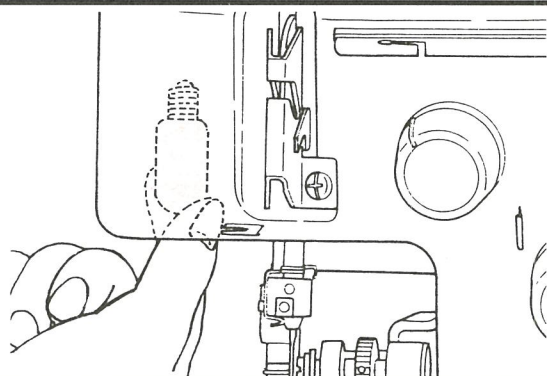
1. はずみ車を手前に回し、針を一番上にします。
2. 上メスを解除します。
3. ドライバー中で下メス押え板止めネジをゆるめ、下メスをとりはずします。
4. 新しい下メスを下メスホルダーの溝に入れ、上下調節器にあてます。  
(下メスの刃先が針板上面と同じ高さになります。)
5. 最後に下メス押え板止めネジを強くしめて、固定します。



## ■ランプの交換

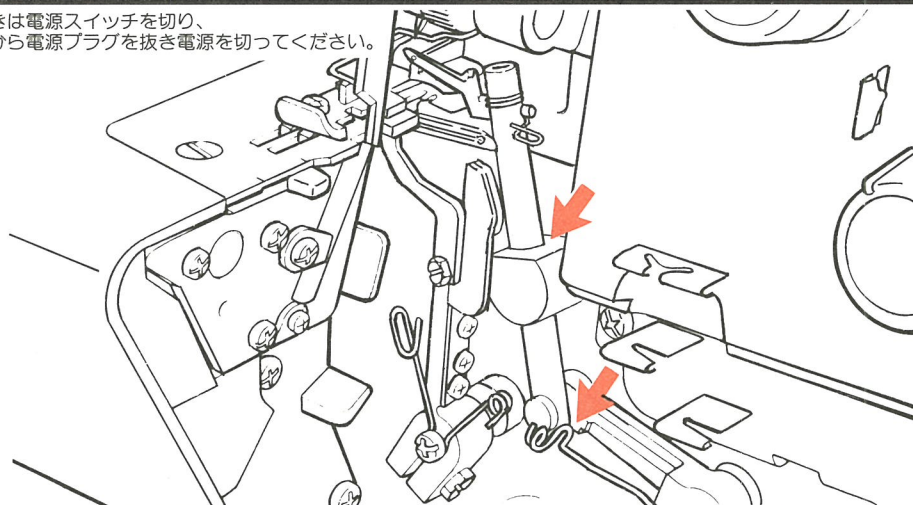
**注意** ランプ交換のときは電源スイッチを切ってください。

ランプをゆるめてはずし、新しいランプをとりつけます。  
ランプの消費電力は15Wです。  
お買い上げ販売店で買い求めください。



**掃除と注油** **注意** 掃除、注油のときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜き電源を切ってください。

ミシンをご使用になりますと、綿ぼこりがたまりますので定期的にとり除きます。  
このミシンには重要な部分に特殊材料を使用していますが使用前に図示したところ1~2滴注油してください。



## ■仕様表

項目	仕様
使用糸数	3本
使用針	HAX1 11番又は14番
かがり幅	4mm (巻きぬい2mm)
縫い目の長さ(送り量)	1~4mm (標準送り量2.5)
*差動送り比	0.7~N~2.0 (MO-630D)
押え上げ量	5mm
縫い速度	最大1,500針/分
ミシンの大きさ	幅270×奥行260×高さ295mm
重量	6.8kg

項目	仕様
定格電圧/消費電力	100V/135W 50/60Hz
ランプ消費電力	100V/15W

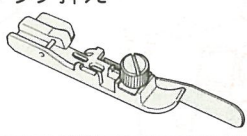

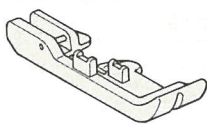
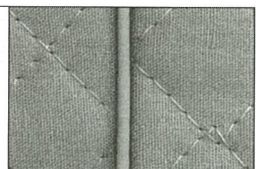
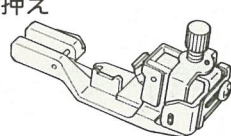

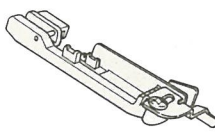

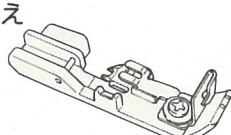
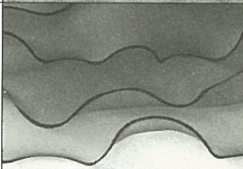

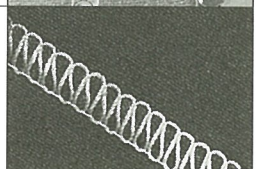
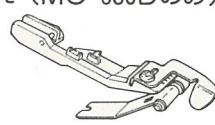
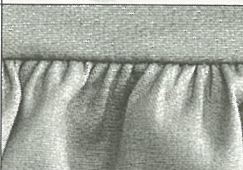
## ■サービスをお申しつけになる前に

次のような場合は故障ではありません。サービスをお申しつけになる前に、もう一度お確かめください。

現象	原因 (理由)	処置方法	ページ
布地を送らない場合	①押えの圧力が弱すぎる時	・押え調節ネジを右へ回し、押え圧力を強くします。	4
針が折れる場合	①針が曲がっていたり、針先がつぶれているとき。 ②針のとりつけ方が悪いとき。 ③布地を無理にひっぱったとき。	・新しい針にとりかえます。 ・正しくとりつけます。 ・縫っているときは布端に手をそえるだけにします。	4 4 -
糸が切れる場合	①糸のかけ方がまちがっているとき。 ②糸調子が強すぎる時。 ③針のとりつけ方が悪いとき。	・正しくかけなおします。 ・糸調子を弱くします。 ・正しくとりつけます。	5.6 7 4
目とびがする場合	①針が曲がっていたり、針先がつぶれているとき。 ②針のとりつけ方が不完全なとき。 ③糸のかけ方がまちがっているとき。	・新しい針にとりかえます。 ・正しくとりつけます。 ・正しくかけなおします。	4 4 5.6
縫い目の調子が悪い場合	①糸調子が不完全なとき。	・正しい糸調子におおします。	7
縫いシワがよる場合	①針糸調子が強すぎる時。 ②糸のかけ方がまちがっていたり、必要以外の場所に糸がからんでいるとき。 ③差動調節つまみの目盛合わせが正しくない。	針糸調子ダイヤルの目盛を小さい方へ合わせます。 ・正しくかけなおします。 ・目盛を正しく合わせます。	7 5.6 8
モーターの故障	①雑音がする。 ②モーターが全然回らない。 ③火花が異常に大きい。	} カーボンブラシを交換します。 (注)カーボンブラシの交換はお買い上げの販売店に依頼してください。	-

上記の方法でも直らないときは、お買い上げ販売店にご相談ください。

## ■別売付属品

<p>●ブラインドステッチ押え</p> <p>スカート、 スポンの裾、 Tシャツの袖口、 裾の処理に！</p>  	<p>●パイピング押え</p> <p>トレーナーの アクセントや バックのコーナーに！</p>  
<p>●ゴムテープ付け押え</p> <p>水着、 レオタード、 衣服のゴム入れに！</p>  	<p>●パール付け押え</p> <p>ドレスや ブラウスの かざり付けに！</p>  
<p>●コーディング押え</p> <p>ドレスの裾、 ブラウスの衿、 形くずれ防止に！</p>  	<p>●2/3本糸切替アタッチメント</p> <p>2本糸に切替えられ 飾り縫いや1枚布の 縁かぎりに！</p>  
<p>●ギャザリング押え (MO-630Dのみ)</p> <p>スカートや ブラウスの肩の ギャザリングに！</p>  	<p>別売品のお求めは、お買い上げ販売店にご相談ください。</p>

# JUKI

JUKI 株式会社

〒182 東京都調布市国領町8-2-1

☎03-3480-7112

000695(T)